

～ドナウ河～

ハンガリー・ブダペストを航く
リバー・ダッヂエス



写真提供:(株)オーシャンドリーム

ライン、マイン、ドナウ河 リバークルーズとオーシャンクルーズの違い

リバークルーズとオーシャンクルーズの大きな違いは、キャビンから見え
る景色です。どこまでも続く地平線と大海原を眺めながらつるぐオー
ションクルーズとは反対に、リバークルーズは、両岸に街や教会、ぶどう畑
や手付かずの大自然、そして地元の暮らしが移り行く景色として広がっ
ています。

オランダのアムステルダムから乗船し、ドイツへ。このクルーズで一番滞
在時間の長いドイツでは、3つの河とそれを結ぶ運河を通り抜けます。ま
ずはライン河、風光明媚でお伽話で出てくる様な中世の城やかわいらしい
街々を、河の流れに逆らながらゆっくりと進んでいきます。一つ一つの
城や街には、伝説や由来となる幾つもの話があり、中世の時代に思いを馳
せながら地元産のワインを片手にデッキでのんびり。さらに、マイン河へ進
路を変えると流れが穏やかになり、牧歌的な景色に包まれます。夏の太
陽を楽しみ日光浴をしている人や、犬の散歩やキャンプをしている人、夏
休みを楽しむ地元の日常なども垣間見ることができます。ほぼ毎日船は
街へ寄港し観光で体も疲れますが、そんな一日の締めくくりにはデッキ
に出て沈む夕日をゆったり眺める不思議と心も体もリラックスできま
す。前半のクルーズは、74箇所の閘門(ロック)を通過し、橋の下をギリギリ
の高さで船は通過していきます。頭上ギリギリ、ハラハラドキドキしながら
橋をくぐり、船を操縦するキャプテンの近くで一緒に体感できるのは
リバークルーズならではでないでしょうか。

1992年に開通したマイン・ドナウ運河へ進むと、運河とは思えない
自然の河のようで、しかし運河の下には高速道路が横切っていたり、様々
な発見ができます。ヨーロッパの分水嶺を越えると、「河上り」から「河下
り」と変わります。運河からドナウ河への合流地点は看板こそありませ
んが、目の前に優雅に流れる大河へと入る瞬間を見ることができます。さ
らに幾つもの支流が大河に流れこむ姿は、陸地で見るよりも遙かに船か
ら眺める方が美しいものです。

ドナウ河へ進むと、今も旧ハプスブルク帝国の面影を感じられる街並み
や文化などを見ることができます。帝国崩壊から100年経つてもまだ
その存在感の大きさが街の至る所に感じられ、大切にされています。続い
てオーストリア、ハンガリー、クロアチア。母なるドナウは、ライン河やマイン
河ともまた違う威風堂々たる姿です。ブダペスト以降の後半クルーズは、
更に河がもたらす恵みを感じることができます。一つは、一期一会の自
然の豊かさに出会えます。朝靄に包まれた静かな絵画の様な姿、日中の
青空に照らされ水面がキラキラと輝く景色、夕日に真っ赤に染められた
様子、満点の星空に包まれる夜……。雨の日でさえも一面水墨画のよう
でワクワクします。二つ目に、今も昔も生活に役立つ姿を垣間見られます。
水浴びや娯楽だけの河ではなく、閘門横にダムがあり水力発電所があり、
小さなボートで魚釣りを楽しむ人々に出会う機会が増えています。

さらにセルビア、ブルガリア、ルーマニアへ進んでいくと徐々に川幅も広く
なっていく様子が日々分かります。オランダ・アムステルダムから出発し、
ルーマニア・ジュルジュ到着までに一つとして同じ景色はなく、長い歴史
の中で今も昔も変わりなく流れ、昔の人と同じ景色を見ていると思うと、
とても口マンに溢れていると思いませんか。

もう一つのオーシャンクルーズとの違いは、船の大きさです。キャビンやラ
ウンジやレストランはオーシャンクルーズに比べるとコンパクトに造られて
いますが、小さな船だからこそ楽しめることが沢山あります。毎日の食事
はその日に寄港した地元の名物料理が中心で、料理にあつた地元産のワイ
ンも毎日紹介してくれます。シェフやクルーは、船が寄港する国の出身が
多いので、「地元の人の声」としていろんな質問に答えてくれます。最後の
最後まで楽しんで貰えるようにどんな小さなことに一生懸命対応し
てくれます。時には、冗談を交え、名前を呼び合い、雑談を交わす。乗船
には一つも日本語ができなかつたウエイターが、下船する頃には日本語で
挨拶から注文を受けられるまでになります。毎朝のストレッチが日本人ばかり
いたりだと、いつの間にか掛け声も皆日本語になってしまいます。彼らの温かな
笑顔で交わす挨拶がとても心地の良い空間となります。

河の流れに身を任せてオーシャンクルーズでは経験できない思い出を、
リバー・ダッヂエスと共に作ってみませんか。

(文:富澤知香/同クルーズ4年連続添乗)

※16回目の東西ヨーロッパ大横断グランドクルーズは2018年7月29日
～8月23日(26日間)に実施します。